

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 3	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>A drink to healthy aging: The association between older women's use of alcohol and their health-related quality of life.</p> <p>飲酒と健康な加齢、高齢女性の飲酒と健康に関連した生活の質との関係</p>	
執筆者	
Byles J, Young A, Furuya H, Parkinson L.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Am Geriatr Soc. 2006 Sep;54(9):1341-7.	
キーワード	
アルコール、高齢女性、健康効果、生活の質	
要 旨	
<p>目的： アルコール摂取と死亡の関連及びアルコール摂取と身体的・精神的な生活の質 (Quality of Life, QOL) の変化の関連を調査すること。</p> <p>研究デザイン： オーストラリアの 70 歳から 75 歳の女性 12,432 人を対象に実施した住民ベースの追跡調査 (1996-2002)。</p> <p>測定方法： アルコール摂取が主要な曝露情報であり、喫煙・疾患の保有・教育歴・体格指数 (body mass index, 体重/身長²)・住居の場所によって調整された死亡率及び健康関連 QOL が主要な転帰情報である。</p> <p>結果： 飲酒しない女性や、まれにしか酒を飲まない女性は少量飲酒者 (一回 1-2 単位/週に 3-6 日飲酒) に比べ死亡の危険度は非飲酒者で 1.94 倍 (95%信頼区間: 1.4-2.6)、まれにしか飲まない者で 1.58 倍 (95%信頼区間: 1.2-2.1) と高かった。また生存者においても飲酒しない女性や、まれにしか酒を飲まない女性では 36 項目からなる QOL 指標 (SF-36) の下位尺度である一般健康状態及び身体機能の点数は低かった。非飲酒者では精神的健康及び社会的機能の下位尺度評価も低かった。</p> <p>結論： 飲酒しないことは死亡と低い健康関連 QOL 得点と関連していた。その他の飲酒状況と死亡と及び QOL の関連はオーストラリアにおける現在の Recommendation と一致している。適度な飲酒が高齢女性において生存及び QOL に関する利益をもたらすことが示唆された。</p>	